

# 日本酒の魅力若い世代に

## 留学やインターンで実感

### 岩手大4年 学内できょういイベント 田中誓さん

一人でも多くの若い世代に日本酒の魅力を伝えたいと、岩手大農学部4年の田中誓さん(21)は今年2月から学内で日本酒イベントを開催している。日本酒が好きという気持ちがあんなの心に映くよつとこの願いを込め、SAKEーSAKE(酒咲け)の名称で、同大農学部4年の久保田真美さんと活動。きょう22日には同大理工学部食堂2階で4回目となるイベント「酒×鮭(さけ)」を開催する。(泉山圭)



22日に学内で日本酒のイベントを開催する岩手大農学部4年の田中誓さん

北海道出身の田中さんは、大学進学を機に住むことになった岩手で、本格的に日本酒に出合った。20歳の時に、南部美人(二戸市)と農家、飲食店が一緒に、行つ酒米の田植えに参

加。「自分が立っている、4月は日本酒の歴史や造りの違いを学んで、こんなおいしいお酒が飲めるんだ」と、魅5月は酒米の品種別に力を再認識。酒蔵があるところばおいしい米が取れ、水があると日本酒が地域と密着して、リピーターが新しい人を呼んでくるなど、徐々に日本酒へ興味を持つ学生の輪が広がってきた。

8月には「日本酒を世界に広める」をテーマに、文部科学省の「トビタテ」留学JAPAN「プログラムを利用してアメリカに2カ月間留学した。現地では日本酒や日本食のイベントでPRを手伝った。現地で行われている日本酒造りを見学。海外で日本酒が注目されていることを確認した。

4回目となる今回は、宮古市の鮭をPRしている同世代の瀬川愛里さんをゲストに迎え、日本酒と鮭とのペアリングを楽しんでもらう企画を考えた。日本酒の知識を紹介する時間を受け、その後は

「海外では情熱を持って日本酒のことを知っていたという人が多いのに、日本人の若い人は日本酒のことを知らない。こんなに近くに質のいいものがたくさんあり、安く買えるのにもったいない」。留学後、学生を中心に日本酒の魅力を知ってもらうイベントを開催しようと考えた。

初開催の2月は多様な日本酒の中で自分の好みのタイプを探る「好きを見つけてよう

「料理を味わいながら、さまざまなお酒を飲み、若きときにおいしい日本酒を知ることができたらいいな」と話した。盛岡市上田の岩手大理工学部食堂2階で、午後8時半から同8時半まで。会費は学生1000円、社会人1600円。定員25人。当日参加も可能。

「海外では情熱を持って日本酒のことを知っていたという人が多いのに、日本人の若い人は日本酒のことを知らない。こんなに近くに質のいいものがたくさんあり、安く買えるのにもったいない」。留学後、学生を中心に日本酒の魅力を知ってもらうイベントを開催しようと考えた。

初開催の2月は多様な日本酒の中で自分の好みのタイプを探る「好きを見つけてよう

「料理を味わいながら、さまざまなお酒を飲み、若きときにおいしい日本酒を知ることができたらいいな」と話した。盛岡市上田の岩手大理工学部食堂2階で、午後8時半から同8時半まで。会費は学生1000円、社会人1600円。定員25人。当日参加も可能。

「海外では情熱を持って日本酒のことを知っていたという人が多いのに、日本人の若い人は日本酒のことを知らない。こんなに近くに質のいいものがたくさんあり、安く買えるのにもったいない」。留学後、学生を中心に日本酒の魅力を知ってもらうイベントを開催しようと考えた。

初開催の2月は多様な日本酒の中で自分の好みのタイプを探る「好きを見つけてよう